

世界の交流拠点都市金沢の実現

～市民と来街者が「しあわせ」を共創するまち～



石川県金沢市

金沢SDGsの歩み

2018年7月

三者協定締結

金沢市、金沢青年会議所、国連大学OUIKの3者がSDGs推進に関する協定を締結

2019年3月

金沢SDGs共同宣言

金沢SDGsを進めるための「5つの方向性」を発表



4月

第1回SDGsカフェ開催



6月

SDGsミーティングスタート

金沢がめざす2030年の姿や
5つの方向性を達成するための
実践行動を議論



2020年3月

**金沢ミライシナリオ完成
(金沢SDGs行動計画)**

6月

**IMAGINE KANAZAWA2030
推進会議設置**

7月

**「SDGs未来都市・
自治体SDGsモデル事業」に選定**

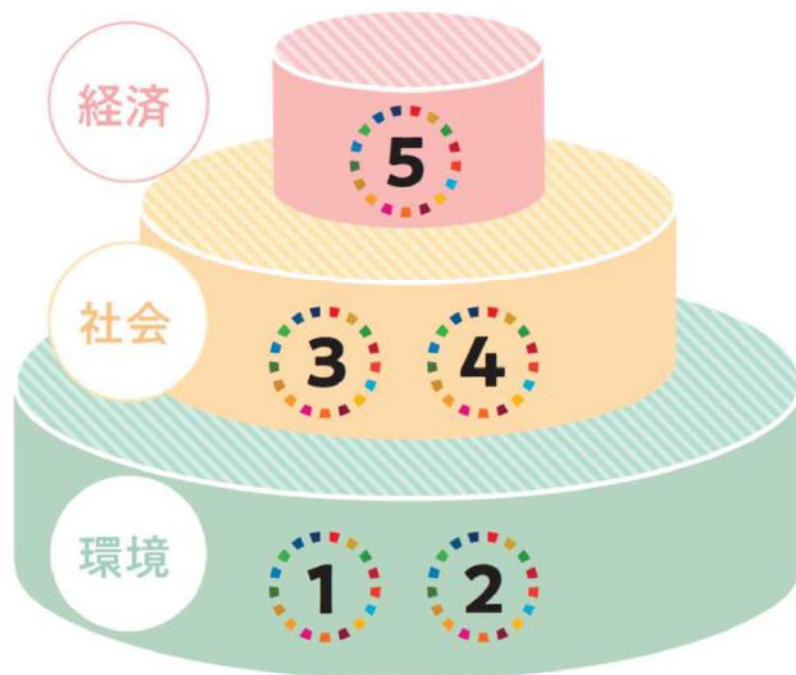
SDGs未来都市として、「持続可能な観光」を
進めていくよ。住んでいる人も、訪れた人も、
しあわせを感じられる金沢になれたらいいね。



うめばちさん

金沢ミライシナリオ（金沢SDGs行動計画）

5つのシナリオそれぞれに、「目標」「取り組むこと」「実践アイデア」を整理



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



5つの方向性に基づき
さまざまな人や組織と
協働で取り組みます。



自然、歴史、文化に立脚した
まちづくりをすすめる



環境への負荷を少なくし
資源循環型社会をつくる



次代を担う子供たちの
可能性を引き出す環境をつくる



誰もが生涯にわたって学び
活躍できる社会風土をつくる



文化や産業に革新的イノベーションが
起きる仕組みをつくる



例  自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる
～古くて新しくて心地よいまち～

目 標

- ・ 金沢らしい暮らし方、働き方、住まい方を知り、継承する
- ・ 歩いてまちの魅力を感じる
- ・ 自然と調和した、災害に強いまちをつくる
- ・ いろんな世代がわくわくするコトと場をつくる

取り組むこと（主なもの）

- ・ 祭礼・風習・季節感を大切にする
- ・ 金沢の自然・歴史・文化の成り立ちを学ぶ
- ・ 歩きたくなるしかけをつくる
- ・ 乗りたくなる公共交通を育てる
- ・ 生物多様性と文化の関わりを学び、守る
- ・ まちなかと里山・田園地域の交流を増やす
- ・ 住んでいる地域の自然災害リスクを知り、備える
- ・ まちなかで新しいコトを起こす

実践アイデア（一例）

- ・ 町会の祭礼に参加してみよう
- ・ 探検気分、ふだん歩かない道も歩いてみよう
- ・ 「ウチの庭」は地域のたから。大切につくり育てよう
- ・ 今ある公園や広場をめいっぱい使おう。



今年度の主な取り組み

IMAGINE KANAZAWA 2030 パートナース

金沢ミライシナリオをパートナーシップで実践するためのプラットフォーム。
現在、104の個人、団体、企業が登録。

会員情報の発信

公式HPで団体・企業会員のご紹介！



会員インタビューの発信

公式HPで会員の取り組みをインタビューして掲載。
毎月1本のペースで公開。



交流会の開催

- 10月30日に初会合（オンラインミーティング）を開催。
会員さんによる取組プレゼンや意見交換を実施！
- 12月18日に第2回ミーティングを開催。
グループに分かれ、「ジェンダー平等」などについてディスカッション。



長期インターンシップ生 の受入

一緒にアイデアを出し実践しながらSDGsを広める活動（SDGsに関するイベントの企画）に携わる実践型インターンシップ生を受入れ。
（12月～3月）

児童・生徒・学生（小学校～大学）を対象とした 「SDGsアイデアソン」イベント の開催



SDGsの推進をテーマに、学校を超えた交流を通じて「金沢ミライシナリオ」の実践につながるプロジェクトを立案するイベントを開催。
（令和3年3月開催予定）

市民向け講座 の開催

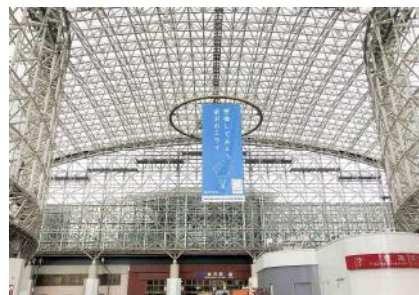
金沢SDGsについて「市民としてやってみたい！」取り組みをイメージし、ともに取り組む仲間とつながるワークショップを実施。



金沢SDGsリーフレットの配付

- ・ 町会や企業、教育機関、市内各所の施設等にリーフレットを順次配付

もてなしドームタペストリー の掲出



SNS広告、ホームページコンテンツ の配信



SDGs やミライシナリオの普及啓発映像 の製作



自治体モデル事業

市民生活と調和した持続可能な観光の振興

～「責任ある観光」により市民と観光客、
双方の「しあわせ」を実現するまち金沢～



歴史都市

明治期以降（約150年間）

戦禍にあわず昔からのまちなみが残る

→「歴史に責任を持つべきまち」

ユネスコ創造都市

世界初のクラフト（工芸）分野の創造都市

→創造的な文化活動と革新的な産業活動の

連環により、まちを元気に

世界の「交流拠点都市金沢」の実現

～市民が創る誇りあるまち～

資産

歴史・伝統、
学術、文化



交流

国内外からの
人・モノ・情報の交流

新たな価値の創造

北陸新幹線金沢開業 [平成27年(2015年)3月]

⊕
プラス
効果

まちに活気や賑わいなどの効果がもたらされる



一部の地域では市民生活への影響がみられる

⊖
マイナス
影響



有形無形の資産が観光により「消費」され変質し、
中長期的に価値を失うリスク



本モデル事業により…

S D G s の文脈でまちの魅力を磨き高め、世界に発信

「責任ある観光客」を世界中から呼び込む

**市民生活と観光の調和、市民と観光客双方の
「しあわせ」(仕合せ・幸せ)を実現**

SDGsモデル事業の概要

市民生活と調和した持続可能な観光の振興

新たな産業の創出

- クリエイティブ産業創出金沢会議（EAT金沢）
- 金澤町家等を活用した金沢AIビレッジ形成

工芸の継承・発展

- 工芸のつなぎ手人材の育成
- 工芸品の海外アート市場開発
- 国立工芸館との連携

金沢の歴史・文化への理解の促進

- 大学生向け文化体験プログラム
- 金沢建築キッズプログラム

多文化共生社会の実現

- 宿泊施設や食のバリアフリー
- 共生社会ホストタウン
- アウトサイダー・アートの魅力発信
- まちなかの歩行環境の再整備

経済

「金沢SDGsツーリズム」の推進

社会



食品ロス削減、グリーンインフラ活用、低炭素社会の実現

- 宿泊施設や飲食店での食品ロスやプラスチックの削減
加賀野菜などの地産地消
- 「木の文化都市・金沢」の創出
- 用水、庭園などによる、水と緑のネットワークづくり
- 「生物文化多様性」の保全・啓発
- 次世代交通サービスの検討

環境



消費型観光から責任ある持続可能な交流型観光へ ～「金沢SDGsツーリズム」の推進～

①観光と市民生活の調和

○「持続可能な観光振興推進会議」の設置

各分野のステークホルダーや専門家による議論



- ・市民生活と観光の調和
「責任ある観光」の推進
 - ・海外誘客の一層の推進
 - ・長期滞在化と消費単価の向上
- その他、ストレスフリーな受入環境整備、DMOの機能強化など

○観光事業者の勉強会開催

SDGs体感ツアーを演出できる人材を増やす

- ・観光事業者有志による「金沢らしいSDGsツーリズム」の検討
- ・観光事業者を対象とした講演会とワークショップの開催

観光再生 SDGsが金沢の観光にもたらす無限の可能性

withコロナ時代における観光のキーワードが「SDGs（持続可能な開発目標）」と言われています。しかし「SDGsって何？」「具体的に何をしたらいいの？」という方も多いのではないでしょうか。そこで（株）やまどころ代表取締役の村山慶輔氏をお招きし、観光業界における「持続可能性/サステナビリティ」をテーマに最新の事例を交えて講演します。

2020年11月にスレシメント社から上梓された同氏の最新刊『観光再生』についても紹介します。

講師Profile
株式会社やまどころ代表取締役、富山県南砺市出身。富山県立金沢大学マディソン校卒。2000年にアクセンチュア株式会社戦略グループに入社。2006年に同社を退社。日本初のインバウンド専門ポータルサイト「やまどころ.jp」を創設。内閣府観光戦略実行推進府審議会メンバー、観光庁観光戦略推進コンタクトインシアベーター事業委員をはじめ国や地域の観光政策に関わる。

やまどころとは？ yamadokoro.jp

金沢市観光協会 村山慶輔氏

主催：IMAGINE KANAZAWA 2030 推進会議 共催：（一社）金沢市観光協会

金沢市は、2030年7月17日、国連より「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」に選定されました。自治体SDGsモデル事業では「市民生活と調和した持続可能な観光～「責任ある観光」により市民と観光客、両方の「しあわせ」を実現するまちづくり～」をめざし、各種事業をすすめています。

消費型観光から責任ある持続可能な交流型観光へ
～「金沢SDGsツーリズム」の推進～

○ 金沢SDGsツーリズム推進事業補助金

対象事業

SDGs17の目標のいずれかの達成に資する先導的な取組

取組例

- 食品ロスをなくす取組
- SDGsを体感できる体験プログラムの造成販売
- 環境やフェアトレードに配慮したアメニティへの切り替え
- 従業員の働き方改革につながる取組
- 自動車の利用を抑制する取組 等

支援内容

対象経費の2／3以内（限度額50万円）の補助金交付

採択基準

- 「金沢市SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」の趣旨に合致する取組
- 金沢においてSDGsを推進するユニークな取組
- 他の事業者に影響を与え、事業の広がりを期待できる取組

消費型観光から責任ある持続可能な交流型観光へ ～「金沢SDGs ツーリズム」の推進～

○ 映像や電子媒体の作成

金沢が世界に「責任ある観光客」のニーズに応えられる観光地であることを発信する



世界の旅行者・市民を軸に、観光事業者（旅行会社、宿泊事業者、飲食業、運輸業、物販事業者…）などあらゆるステークホルダーのSDGs への理解を促進させる



【イメージ】 **Mālama Hawai'i**
(ハワイ州の取り組み)



消費型観光から責任ある持続可能な交流型観光へ ～「金沢SDGsツーリズム」の推進～

②域内経済の循環の創出

- 金沢21世紀美術館や、価値創造拠点（2021秋オープン）を中心とした、多様な人々が共創するコミュニティの形成

参加交流型の美術館としての実験的な
アクティビティ（ライブ、滞在制作など）



コワーキングスペースや、クリエイティブラボで、
起業家、地場企業、アーティストなどが交流



OSDGs体感ツアー 域内の人材、自然、文化、食材などの価値を高める

イメージ

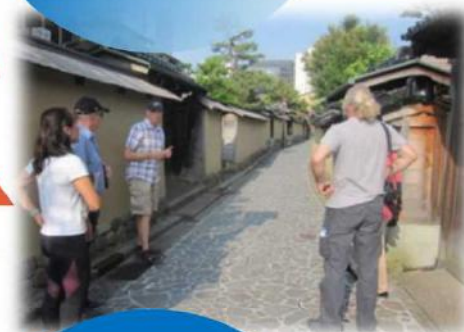


まちの
魅力を
共創

市民 & 観光客



責任ある
観光客の
来訪



SDGsを
体感できる
まち



SDGs
体感ツアー
の実施



KANAZAWA SDGs Tourism

- ・モデルツアーの実施
- ・民間事業者等が造成したツアーの認定・周知

多様なステークホルダーによる

コレクティブインパクト